

原則はゆずれない！ 人権・民主主義・戦争の放棄

あなたは平和のスポンサー



掲載日・掲載紙 2026年8月6日(木)

朝日新聞朝刊 全国版全15段
中国新聞朝刊 全15段

みんなで作る意見広告 メッセージ募集中

6月末締切

主催者として訴えたいことを
振替用紙の通信欄に書いてお寄せください！

◆あなたの意思表示が憲法を活かす大きな力に！

私たち主催者の拠りどころは「日本国憲法」です。今こそ、
草の根市民が力を合わせて STOP! 改憲、憲法を活かそう！
あなたの名前を載せる 8.6 新聞意見広告にご参加ください。

▼8.6 意見広告のチラシは何枚でも送ります。遠慮なくご連絡ください

「戦争するな、改憲反対」国会前から始まったこの動きが
全国に広がり、広島市の繁華街でもプラカードを掲げる若者の姿
が眩しい。イスラエル・アメリカのイラン攻撃から戦闘が続き
子どもたちにも犠牲が出て、そこへ自衛隊の掃海部隊が派
遣されると何が起ころのか、もう他人事ではなくなったのだ。

日本は突然の衆議院解散・選挙、物価高、原油高で混乱、
世界もイスラエル・米国のイラン攻撃で戦禍が広がり、ホルム
ズ海峡の事実上の封鎖にいたり米国の信用は失墜している。
日本はこの戦争を終わらせるために双方に働きかけ、憲法
前文を実践して世界の願いに応えよう。原油高も一時の補
助で凌ぐのではなく、化石燃料や原発からも脱却し、再生
可能なエネルギー政策へ大転換する転機としたい。

広島では松井広島市長が「教育勅語」を引用した職員研
修訓話を取りやめた。(詳細はp10) 教科書ネットの学習会
や広島市・議会への要請行動の積み重ねと市民が協力をし
たからこそ！ 私たちの 8.6 新聞意見広告の取り組みが、
改憲、軍拡、原発、差別・排除など様々な取り組みを憲法で
つなぐ役割の一つになれば、と願っている。 2026.3.30 (藤井)

憲法を活かそう ストップ改憲！ 8.6新聞意見広告2026にご参加ください！

2026 平和といのちと人権を！ 5・3 憲法集会

**憲法を活かして
戦争のない世界に**

2026 **5.3** (日)
13:30~15:30 (開場 13:00)

会場 広島県民文化センター
(〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3)

観覧料 800円 (学生・障がい者無料)
*県内各地にサテライト会場を設けます



講師 **飯島滋明さん**
(名古屋学院大学教授)

「チェルノブイリ その後の世界」
上映 & 講演

2026年 **6/6** (土)
14時~

広島弁護士会館 2階会議室
(広島市中区八丁町2-7)
参加費無料 (カンパ歓迎)

講師 **コリン・コバヤシさん**

会報128号 もくじ

- 1 8.6新聞意見広告2026にご参加を！ 5.3憲法集会・行動のお知らせ
- 2 2026年34年目の始動(藤井) 呼びかけ人・会員さん・賛同人のメッセージ
- 4 フクシマ15年 チェルノブイリ40年…………… コリン・コバヤシ
- 6 水を守りたい~「ストップ本郷産廃処分場」のとりくみ~ 森山洋子・飯田純子
- 8 島根・雲南に火薬庫、訓練場誘致問題が急浮上…………… 田中繁行
- 9 のらフェミ通信6 日本版「女性の休日」2026年…………… 大石友美
- 10 「特別の教科道徳」と「教育勅語」…………… 岸直人
- 11 パネル展 日本軍「慰安婦」問題と現代につながる性暴力…………… 大道美代子
- 12 改憲と戦争への流れを止める！ 2.7布施祐仁講演会…………… 溝田一成
- 13 ミサイル配備反対 熊本健軍駐屯地をぐるり報告…………… 藤井純子
- 14 2026総会報告…………… 第九条の会ヒロシマ事務局
- 15 新たな海外別姓婚に関する申立て 恩地いづみ 活動報告 お知らせ

5.3 憲法シール投票

5月3日(火) 11時半~12時 元安橋

9条を変えて戦争する？

9条を守って戦争しない？

主催：ヒロシマ女たちの会

九条再発見「アレン・ネルソン」上映会を！

藤井純子（第九条の会ヒロシマ世話人）

第九条の会ヒロシマは 92 年に設立し 34 年を迎えました。続けることができたのも支えてくださる皆さんのお陰と世話人一同、感謝しています。総会で承認と応援の声を得て 2026 年度も「戦争・憲法改悪を許さない活動に全力で取組む！」と思いを新たにしています。

高市・トランプの日米首脳会談では、米国の要請は相当に強かったのだろうが、憲法 9 条の力が、海上自衛隊掃海部隊の即時ペルシャ湾派遣を跳ね返しました。

しかし在日米軍は佐世保の強襲揚陸艦をはじめ、横須賀、厚木、岩国からイランに既に派遣され、日本は出撃基地となり今後の中東での立ち位置が危ぶまれる。また海自は呉基地にも置かれていた「護衛艦隊」を廃止し「水上艦隊」を発足させました。軍拡に加え自衛隊のこうした改編は実戦のため即応性を向上させるのが狙いだが統括・命令は米軍にあることを忘れてはなりません。

以前は米国の大統領は戦争を起こせば 1 次的だが熱狂的な支持を得てきました。権力にしがみつくトランプ大統領は中間選挙を前に支持を取り戻そうとして先制攻撃をしたが今回ばかりは支持率は下がり、国外でも米国離れが進んでいます。ここは九条を持つ日本が一刻も早い終息に向けた交渉テーブルを用意すべきです。

今回の選挙で世論はますます右に振れ、街頭でも高市首相の「存立危機事態」発言は当然だと思っている人や「最低限の武力は必要だ」という人が増えました。「若い人が戦争に行くことになるのでは？」と聞いても 10 年前の安保法反対の声が大きかった頃は、「戦争に行くのはイヤだ」という声が多かったのですが、今では「私は行きます」と真面目な顔で話す若者がいて驚きます。戦争の実態に思い至らないのでしょうか？

今、戦争体験者の声を聴く機会が少なくなりました。90 年代には当会の世話人にも「不戦兵士」や中帰連＝「中国帰還者連盟」の方がいて話を聞くことができました。歩兵 11 連隊から兵士として中国に行かれた方は「中国の人を並ばせて突いて殺す訓練をした。その感覚をまだ覚えている」「戦友が目の前で殺された。憲法 9 条は戦死者の遺言状」だと言われていました。また、三光作戦（殺し尽くし・焼き尽くし・奪い尽くす）や 731 部隊、南京虐殺、「慰安婦」のことなど本当の戦争を伝えておきたいと一生懸命に話してくださいました。もう亡くなられましたが、もっと聞き、「兵士たちの戦争」を、少しでも若い人に伝えることができれば、と思います。

そんな時、映画「アレン・ネルソン - 9 条を抱きしめて」を知り、3 月 22 日の設立 34 周年を記念して上映会を

企画しました。その訳は「戦争とは何か、体験者の声を聴いてほしい」このことです。アレン・ネルソンさんは米国海兵隊に入り、ベトナム戦争に参戦し、帰還後、PTSD に苦しみました。そんな時に九条を知って感激し、ベトナム戦争に使われた枯葉剤の影響で亡くなるまで「九条を決して手離してはならない」と語り続けました。（映画の要約は JCI 広島藤元さんが HANWA ブログに UP）



上映後、この映画を制作された阿部監督は「KILL 殺す！それが軍隊であり戦争だ。いくら無人の兵器の利用が増えたとしてもボタンを押すのは今のところ人間だ。

僕は、そのボタンは押せないし、子どもたちにもそう願ってこの映画を作った」と話されました。参加者からも「上映会をして若い人に本当の戦争を伝えたい」との声が多く聞かれました。DVD など無料で借りることができるので是非開催をお願いしたいと思います。

上映会に予想を超える参加があったのも自衛隊がペルシャ湾に派遣され日本が戦争に参加するのではないかと、台湾有事があおられ「軍拡・9 条改憲も必要」という世論が高まっている危機感は大きく「本当の戦争を知らせなければ」という思いからではないでしょうか。

九条があったからこそトランプ・高市日米会談で海自の即時派遣とはなりません。カメラが消えた後、高市首相が約束をした莫大な武器や原発関連の投資が次第に伝わってくるにつけ、日本が米国依存からの脱却に舵を切るべき時がきていると思います。

極端に右に振れた振り子も必ず戻る時が来ます。あきらめず活動を続けていなければそのチャンスを逃すことになるかもしれません。今年も憲法の原則「人権・主権・平和主義」を活かす政治をめざし、8.6 新聞意見広告に取り組みます。殺さない！ 世界の希望となる九条を厳守・実現するため、ご協力をお願い致します。



写真提供 宮内秀佳さん

「呼びかけ人」からのメッセージ

岡原美知子 新たな戦争をさせないために、憲法改正を絶対に阻止しましょう。
 恩地いづみ 「歴史に学ぼう」とか面倒なことを言うより「新味のある事言ってるシュツとした人の方が何かよさげ…」と甘そうな匂いに引きつけられる社会、ぜーっつたいおかしいと歯がみする毎日。楔を打とう！
 土屋みどり 核も戦争もない世界に向かって頑張ろう
 橋本真 もう決して「戦前」とは言いたくない
 山今彰 軍事費を削減して福祉の充実を！！
 池田年宏 粘り強く、反戦・平和。命、人権、憲法9条。
 武田隆雄 核廃絶、憲法9条を守れと訴えます。合掌
 名出真一 改憲、軍事拡大を許さない！

藤岡耕二 娘たち、若い人たちに、平和な社会を渡したい
 沢田正 まっとうな政治を
 古橋雅夫 中道の政治より、憲法に基づいた政治を！
 松田正久 非核三原則は日本の国是、核禁条約を批准する政府を直ちに創ろう！
 山口たか どんどん進む戦争への道！
 市民のつながりでストップさせましょう
 山本みはぎ 政治の大勢が、憲法破壊の軍拡や排外主義に傾く中、過去の侵略戦争や植民地支配の過ちを真摯に反省し憲法を活かす原則的な運動、政治を実現する活動がますます重要になってきた
 若尾典子 若者に平和と希望を！

会員さん、ご支援くださる皆さんからのメッセージ

永山良樹・京子「新しい戦争にはいけない」と声をあげよう
 増野一恵 私の気がかりなことは、戦争
 波多野進 軍事力では国民は守れない
 青野篤子 私の気がかりなことは、日米地位協定
 藤木百合子 アメリカの力による支配
 安部寛治 2026年新軍国主義の幕のすそがめくれた
 大林トヨ子 日本社会の貧困と右傾化が、気がかり
 坂口晴一郎 戦後80年、日本人は平和憲法を忘れたのか！
 2026.1.20 高市総理衆議院解散暴挙の日
 戦争絶対ダメ
 米光裕子 非核三原則の見直しを許してはならない！
 山本将嗣 首相の言うことがうそっぽく信じられぬ
 中市後千秋 憲法九条＝平和憲法を決してなくしてはならぬ国民の力で守らせましょう
 富矢伸史 戦争の好きな人が多いことが気がかり
 谷代久恵 目を閉じたくなるほど危機感と不安を感じる。それでも希望は持ち続けたい。
 渡辺栄子 国民の力で戦争できない国へ
 坂健二 私の気がかりなことは憲法改悪
 石堂文子 核禁条約に署名しない政府与党に対し抗議します。(99才)
 土田正夫 高市政権により「新しい戦前」始まった
 川本正晴 独裁者トランプの暴走を止めよう
 山今彰 私の気がかりなことはイスラエル製の攻撃用ドローンを購入してジェノサイドに加担
 君島好信 自然破壊を止めたい
 堀尾昭子 高市政権を倒さなければ！
 春藤かづ子 若い人が新聞を読まない事はきがり
 板谷完二 戦争反対
 稲村宏子 軍備全廃と人間平等
 上野勝 気がかりは憲法改悪の動きが政府の中
 濱岡雅子 にあること。憲法や平和を守りたい。
 島崎ゆきこ メディアは、国民と共に闘え！
 林亨 大国の国際情勢認識
 大野鈴子・一則 戦争がすぐそこまで来ているようで恐ろしい。
 阪中保 高市政権を倒すこと、護憲の政府を！
 栗城理一 世の中が軋む音に無関心であるな
 波多野和子・波多野聡 原発再稼働と軍拡に走るな

杉山裕 日本の軍拡、侵略、原発回帰
 毛利勝典 日本でも戦争が産業化し継続すること
 能仁智子 非核三原則をないがしろにすることに憤り
 大野富美子 軍拡より生活
 大杉美耶子 広島に疎開し「原爆」は忘れられない
 小林義朗 首相は憲法9条の非戦の誓いが欠落
 大島貴美子 子どもたちに九条の大切さを語り続けよう
 9条のポスターを園内に貼っています
 軍拡阻止
 石原隆 外交がだいじ 自分にできることは何か？
 三村敏子 人殺しは罪、戦争だからと言って許されない、すべては話し合いで解決すべき
 和木祐一 ウクライナが早く停戦になればと
 世良裕文 早苗ちゃんのおっかない作り笑顔
 大越敏男 トランプの出現により世の中がめちゃ
 上原経子 くちゃ、世の中が暴力的になった
 大森優子 原発再稼働と憲法改悪
 松田智 高市スマイルにだまされるな
 真鍋裕子 軍事費を平和や福祉に使ってほしい。
 城山大賢 非武装、戦争放棄こそ
 亀田康子 暗闇の中を進み光を勝ち取ろう
 岩下健一 高市政権は戦争する国にしようとしている
 藤井洋文 差別や戦争を取り上げない学校教育
 佐藤純子 戦争をする国にさせない
 木村公一 憲法第九条は一字一句変えさせない
 広政俊治 九条は「命」です。改憲は許せない。
 松浦賢治 人権にファーストもセカンドもない！
 三上弘志・西矢恵子 高市の追い風グッズ爆売れの恐ろしさ
 市民の広場 戦争ビジネスに加担させられるのは真平
 中村雅之・中村松美 戦争・軍備増強反対、自由、平等、尊厳
 石黒由佳 勇ましいことを言う人ほど他者を尊重しない
 鈴木聖幸 法が無視されればかりがまかり通っている
 黒木潤 「核持ち込ませず」破棄「核保有」に危機感
 村上繁幸 9条を変えな
 鍛治川俊治・法子 高市首相憲法改悪・自衛隊明記絶対反対
 辻村玲子 軍備拡大、スパイ防止法、憲法改正反対
 大西五己 日本国憲法は最高法規！軍拡より平和外交を
 高橋久美子 高市政権は「戦前」の始まり



フクシマ 15年 チェルノブイリ 40年 — 国際原子力ロビーの隠蔽戦略 —

福島原発事故後 15 年が過ぎ、いまだに緊急事態宣言下にあるという事態にもかかわらず、あたかも事故は収束に向かい、汚染水、廃炉の問題と核廃棄物の問題だけが残され、多くの人は福島事故をほとんど忘却した日常を送っているように見える。

原発推進のフランスの原子力ロビーは、国際機関などとの調整を行いながら、原発事故の放射能による影響の矮小化、ひいては無害化の強力な広報戦略を 15 年間繰り広げてきた。そして今日、国際原子力ロビーが自明の事実として、国際世論の前面に結論として提出しているのは、以下のごとくである：

福島では『放射能による死亡者はゼロである（東電、日本政府）、放射線被ばくが直接の原因となる健康影響（例えば発がん）が将来的に見られる可能性は低い、事故による放射線被ばくが直接の原因となりうる健康への悪い影響は報告されていない』（UNSCEAR 2020 年報告書）、『被ばくした子どもたちの間で甲状腺がんの検出数が（予測と比較して）大きく増加している原因は放射線被ばくではない』（UNSCEAR 2020 年報告書）、『甲状腺癌は発見されたが過剰診断が影響しており、福島事故由来のものとは考えにくい』（県健康調査委員会）、さらに、『一般公衆の間で放射線被ばくが関係している先天性異常、死産、早産が過剰に発生したという確かなエビデンスはない』（UNSCEAR 2020 年報告書）。

コリン・コバヤシ（フリージャーナリスト・著述業
・映像作家、フランス在住）

『2012 年までに、福島第一原発沖の沿岸域の海水でさえ、セシウム 137 の濃度は事故前のレベルを超えることはほとんどなかった、野生生物集団に対する地域限定的な影響はありえそうにない』（UNSCEAR 2020 年報告書）。『原子力災害後の福島で暮らすということ、それでも、ここでの暮らしは素晴らしく、よりよい未来を手渡す事ができるということ』（福島のエートス）=これは「チェルノブイリで生きること、それは生きるを再び学びなおすこと、別の生き方を学ぶこと、また生きていく上で放射能の存在を新たな要素として日常生活に受け入れることである」というエートスのベラルーシの写真集の表紙を飾ってある言葉と共鳴する。

1989 年の IAEA（国際放射線防護委員会）国際会議で、チェルノブイリ事故後、この事故について言われたこととほぼ同じだ。そして当時の IAEA 理事長ハンス・ブリックスは、「毎年、チェルノブイリ級の事故があっても、耐えられる」とまで豪語した。

チェルノブイリ事故を知っている若い世代はどれほどいるだろうか。

1986 年 4 月 26 日、深夜に行った実験の手続きを間違えた人間による過ちのせいで、重大な事故に発展した。溶融した原子炉 4 号機が爆発し、その後発生した火災が周囲にあった黒鉛に点火し、火事が 10 日間続いたせいで、莫大な量の放射能が四散されることになった。これを食い止めるために、80 万人とも言われる消防士、兵士、警官らが、日夜、事故の起こった建屋に鉛の混じった砂とセメントを流し込んだ。ソ連体制の中で、これらのリクビダートル（事故収束作業員）は国に奉仕できることを荣誉として、放射線の怖さも知らずに黙々と働いた。しかし、10 年以上経過する間に、彼らは次々と亡くなった。2001 年までに、10%以上のリクビダートルが亡くなっている。そして現在も亡くなっているし、そうでなくとも疾患を持った人たちがたくさんいる。これらの犠牲者たちはいまだに放射線による死亡者だと公的に認定されていない。国からも、国際機関からも。しかし、彼らのおかげでヨーロッパは、チェルノブイリの放射能から逃れることができたのだ。40 年過ぎて、事故は収束したといえるだろうか。答えはいまだにニエット（ノー）。旧ソ連では除染作業は行



われず、放射能は至る所に存在する。40 年も経ち、セシウム 137 の半減期 30 年は過ぎたが、それで急激に放射能が減るわけではない。チェルノブイリ事故は、事故以前の放射線レベルに戻るまで約 900 年かかると言われている。実際、今日まで放射能測定とペクチン療法を続けているベルラド研究所はベラルーシの首都ミンスクにある。この研究所が毎月出す最近の測定報告書を見ると、乾燥させたキノコは、3000 から 5000Bq / kg のオーダーでセシウム 137 が検出される。これらのキノコは食品としては失格だが、何も知らない住民はこうした汚染食料を食べ続けているのだ。長期に渡って低線量の内部被曝が続く限り、その影響は免れない。そして結果的に、地元の食料を食べざるを得ない子どもたちが病気であり続ける限り、ページは捲れない。

国際原子力カロビーの放射能被害否認の意志がチェルノブイリ以降貫徹されている以上、チェルノブイリを超えて、福島放射能被害が先に認定されることはまずないだろう。実際、国際原子力カロビーはさまざまな組織と結びつきながら、さまざまな否認の戦略を実行している。それらの中で、わかりやすいのが、チェルノブイリ 10 年後からベラルーシで始まったエートス・プロジェクトである。このプロジェクトの同じアクターたちが福島に来て、姿を変えて、ダイアログセミナーと称して、同じ戦略を実践している。その戦略の日本での受け皿になっているのが、日本の ICRP 支部であり、また「福島のエートス」から「福島ダイアログ」に発展した安東量子の主宰する組織である。この組織は、とりわけフランスの原子力カロビーに強力にバックアップされている。エートス・プロジェクトと福島におけるその展開については、6 月 6 日に行う講演の主題でもあるのでここでは割愛する。

今回、講演前に上映するドキュメンタリー映画『チェルノブイリ、その後の世界』について、説明しておこう。この映画ができる由来は、エートス・プロジェクトの推進者ジャック・ロシャールがバックアップして制作されたオリヴィエ・ジュリアン監督のドキュメンタリー『チェルノブイリ、福島、・・・と共に生きる』(https://boutique.arte.tv/detail/tchernobyl_fukushima_vivre_avec) が 2016 年、チェルノブイリ 30 年にあたる 4 月 26 日に仏独文化テレビ局「アルテ」で放映され

**国際原子力カロビーが
チェルノブイリと
福島事故の矮小化と
否定をしようとしている!**



たことだ。この映画はロシャールが影の監督のようになっているので、当然、エートスのエスプリで描かれている。この映画に対する反論として作られた映画が、『チェルノブイリ、その後の世界』(2017 年)だ。前者の映画が、事もあろうに 30 年目にあたる日に放映されたことで、NGO「チェルノブイリーベラルーシの子どもたち」会長イヴ・ルノワールは、テレビ、ラジオなどで反論を表明したが、それだけでは不十分と考え、急遽、現地に飛んで前者の映画に出演した測定士の女性たちやベルラド研究所所長アレクセイ・ネステレンコなどにインタビュー取材し、まとめた映画が後者の映画である。

まず前編で、アーカイブ映像を使いながら、チェルノブイリ事故の発端からその後の展開、そして当時、旧ソ連の中でも第一線にいて、移動可能な小型原子炉を開発したばかりのベラルーシの核物理学者ワシーリ・ネステレンコが、事故後、180 度原子力に対する認識を転換し、住民と子どもたちの防護のために奔走したことを知らされる。また測定に従事した女性たちが証言する。しかし、事故の 10 日後にコペンハーゲン WHO 本部で行われた国際会議で、国際原子力カロビーの意志のエッセンスは決定したのだ。ウクライナの事故収束作業員 17 万 9046 人の内、1997 年にはまだ生存していた人たちの 42.3% が 2006 年までに死亡した。つまり 7 万人以上が作業で受けた被曝によって亡くなったのだ。こうした事実を知るだけでも、この映画を見る価値がある。

前者の映画では、汚染地でもなんとか楽しくやっているとエートスの通奏低音を背景に描かれている。しかし後者では、さまざまな人たちに取材する中で明らかになるように、子どもたちはますます病気になる、あたかも自然の楽園のように喧伝されるチェルノブイリの森では、さまざまな鳥や動物が遺伝子に悪影響を被っている現実が提示される。

40 年経っても事故の悪影響は終わらない。それがチェルノブイリの現実である。

水を守りたい～「ストップ本郷処分場裁判」の原告の思い

本郷処分場裁判のこれまで

森山洋子（ストップ本郷処分場原告団事務局）

2020年7月に提訴した、広島県に本郷処分場の建設許可取り消しを求める行政訴訟は、2023年7月一審で勝訴しました。しかし湯崎知事が控訴し9回の口頭弁論を終え、2026年5月14日に判決が言い渡されます。

本郷町の日名内上（ひなないかみ）地区の、処分場から下流600mのところに住んでいる原告の飯田純子さんは、息子さんと一緒に農業をされています。使っている水はすべて井戸水で、わけてもらう作物は美味しいです。地域の水源祭りで水の味比べをしたとき、5歳の子どもが飯田さんちの井戸水を飲んで「甘い」と言ったのが心に残っています。しかし、2022年9月から産廃が埋め立て始められ、半年で臭い泡水が日名内川に流れ始め、1年もたたない8月の夜中に家の横を流れる泡まみれの川を息子さんがみつけて動画に撮りました。川で野菜が洗えなくなり、川の水を田んぼに引き入れられなくなり、2024年は稲作の一部を断念しました。

今回の裁判は「広島県が処分場の設置許可をした過程は正しかったか？」という点で争っています。今の汚染・被害と判断の過程を分けて考えるという、私から見たら「はて？」と思うやり方です。一審では「まちがいやたりないことがあった」として私たちが勝ったのですが、広島県はそれを認めません。控訴審の判決がどちらにしても上告するでしょうから、毎日埋立は続いていくでしょう。1月末で約9万5千トンの産廃が埋められました。しかも11月からは月の合計がそれまでの1.5倍の量に増えています。空撮で時間を計ったらはじめは30分近くかかっていたのに、今は4～8分でトラック1台の産廃を埋めています。これで展開検査をしているといえるのでしょうか？裁判が延びれば延びるほど、水は汚れていくのです。

5月14日に判決が言い渡されます。この事例で裁判に勝った例はないそうですが、私たちはこれを公害ととらえ、産廃に関する法律を変える糸口にし、水を守る闘いを続けていく決意です。



2023年7月 行政裁判勝訴

意見陳述

2月4日控訴審結審での飯田純子さんの意見陳述です。体調が悪い中、声を振り絞って陳述されました



飯田純子（ストップ本郷処分場原告）

私は、三原市本郷町にある自宅で一人暮らしをしています。私の自宅は産業廃棄物最終処分場から東に600mほどという近い場所にありますので、処分場についての私の思いをお話します。

私は自宅付近に田んぼと畑を所有しており、米と野菜を作っています。作る野菜はトウモロコシ、トマト、キュウリ、ナス、大根、白菜、ブロッコリー、キャベツ、ジャガイモ、タマネギ、ニンジン、レタスなどで、季節毎にいろいろな野菜を作っています。育てたお米と野菜は自分で食べるだけでなく、販売もしています。

また、自宅近くには生前に夫が建てたプレハブのせんべい工場があり、家で作ったお米を原料にせんべいを作って販売しています。

私の家では30年以上前に自宅敷地に掘った井戸の井戸水を使っています。今の井戸ができる前は、生活用水は、山からの湧き水と自宅から少し離れた釣瓶式の井戸の井戸水でした。その井戸は、江戸時代の参勤交代で西国街道を大名が通るときに、その大名が汲んで飲んだという昔話が伝わるほど古い井戸でしたが、自宅から少し離れたところにあり、利用するのが大変でした。湯水の際に水が濁ってしまうこともあり、それでは不便なので、田の圃場整備が行われたときに、自宅敷地内に井戸を設置しました。

私の生活にはこの井戸水が欠かせません。私の家の畑にはビニールハウスを設置していますが、ビニールハウス内の野菜の給水は井戸水を利用しています。レタスは井戸水のみを利用した水耕栽培で育てており、井戸水なしではやっていけません。ビニールハウス外の野菜についても、ホースで井戸水を散水したりして利用しています。

私が育てた野菜は美味しいと評判で、長年にわたって知り合いの方に販売して喜ばれています。これほど良い野菜が育つのも水質の良い井戸水のおかげでしょう。

井戸水は、せんべい工場内の清掃、器具の洗浄、作業着、タオルの洗濯などで利用しています。

また、自宅では井戸水をそのまま屋内に引き込んでおり、飲料水、料理、お風呂、洗濯、トイレといった生活に必要な水は全て井戸水です。濾過フィルターを使って

いませんが、加熱しなくても飲めて、しかも雑味も無く、周りからも美味しいと評判でした。その様な生活ですので、私はこれまで水道水を使わずに生活してきました。

地裁判決では処分場の設置許可が違法であるとの判断は下りましたが、その後も、処分場の稼働は続いています。廃棄物を大量に積んだトラックが私の家の近くを毎日のように走っています。廃棄物埋立が始まってから1年もたたないうちに日名内川の水に影響が出始めました。ひどい泡が流れだすようになり、異臭もするようになりしました。私は、これまで私の生活を支えてくれたこの井戸水が失われる日も近いのではないかと不安になります。井戸水を生水のまま口にしてしまうこともありますので、汚染された水を飲んでしまう可能性もあります。本当に恐ろしいです。

昨年も米作りを行いました。もともと私の田んぼは日名内川につながる農業用水路から水を引いていました。しかし、汚染により日名内川の水は使えなくなったので、影響の少ない処分場の反対側の山水を苦心して手に入れ、その水で米作りをしました。しかし、川の水しか使えない田んぼが2枚あります。1枚は50mのホースで引いたり、家の井戸水を入れて米を作りましたが、1枚は断念しました。ぜんぜん水が足りないので令和7年産の米は今までより少なくなりました。

私の夫が町内会長の時、本郷町で初めての圍場整備をしました。この事業を進めるに当たり困難を極めました。日名内上集落の農家が団結してそれを乗り越えてきたのを見ておりますので、この日名内の里山を守っていきたくのです。集会所の敷地には、その事業の完成を祝って大きな記念碑も建てています。けれども、処分場からの汚染水が出始めてから、今では米作りを完全にあ

るいは一部を断念した農家が我が家を含めて9軒もあります。いずれ跡を継ぐと言っていた若者が、農業では先が見えないとあきらめたり不安に思ったりしています。これからの農業の発展を願い、水路整備をし、便利のいい水田を作ったのに、その川の水が使えないとはなんと情けないことでしょうか。この里山はどうなってしまうのでしょうか。

最後になりますが、私が住む本郷町のきれいな井戸水や川の水は私の生活全ての基本になるものです。その環境を根本から奪い去る産業廃棄物最終処分場の設置を許可したことを私は到底許すことができません。

報道もされましたように日名内川周辺では、令和6年の夏には鉛が、令和7年の夏にはPFASが検出されました。県は、鉛は自然由来であるからしようがないと言って何の対策もしません。処分場の土地はずっと山林だったので、処分場の上流と同じようなきれいな水が流れていたのだから、自然由来のはずがないです。PFASも処分場からの排水が流れ込む部分が一番濃度高かったにもかかわらず、国の基準値以下であるとして調査を終了しました。

汚染された水は川下に流れ下ります。地下に浸透していきます。本郷処分場は地形的に竹原市にも影響を及ぼします。いずれ多くの人たちが、私のような苦しみを受けるのだと思うとつらいです。住民生活の安全を守るのは行政の仕事ではないのですか。私たちはどこに助けを求めればいいのでしょうか。

裁判所におかれましては、これ以上、私を含む本郷・三原・竹原の人々の生活が脅かされないよう適切な判断をしていただくようお願い申し上げます。



2月2日 広島高裁前 5月14日判決に向け頑張ろう！



*詳しくは「ストップ本郷処分場」のホームページ、フェイスブックをごらんください。

<https://mihara-sanpai.com/>

https://www.facebook.com/shiminyuushi?locale=ca_ES



島根・雲南に火薬庫、訓練場誘致問題が急浮上

田中繁行（ピースリンク広島・呉・岩国 雲南市在住）

昨年末の報道で、島根県の雲南市と奥出雲・飯南町の雲南地区防衛協力会が、施設誘致で地域振興が進むとして自衛隊の火薬庫と訓練場の誘致に動いていることがわかった。同時期、過去最高の総額 9 兆 353 億円の防衛予算案が閣議決定され、防衛省は火薬庫を 27 年度までに全国で約 70 棟の増設を計画している。道路や福祉施設へ補助金を出すことで住民を懐柔しようとしている。

軍事施設強化の誘致に至る経過

18 年 12 月の防衛大綱で、第 13 旅団の部隊編成の見直しを示されて、24 年の 3 月に岡山県の日本原駐屯地の第 13 戦車中隊が出雲駐屯地の第 13 偵察隊に統廃合され、新たに最新鋭 16 式機動戦闘車 (C-2 輸送機で運ぶことが出来て、一般道も走行が可能な戦車) を主力とする「第 13 偵察戦闘大隊」が新設された。

▶誘致ばなしが浮上

25 年 11 月の始めに雲南地区防衛協力会の結成式が丸山県知事と石飛雲南市長の出席のもとでおこなわれた。現在の会員数は 130 人ほどと言われている。同月 10 日には、候補地の雲南市吉田町の地区住民を集めた、議会請願の為の説明会が 20 人ほどで行われた。これを主導したのが 24 年の県議会選挙 (4 月投票) で最年少トップ当選を果たした 29 歳の自民党新人議員 (防衛大学校出身の元初級幹部自衛官) と言われている。

▶説明会で明らかになったこと

- ① ウクライナ戦争を引き合いに武器・弾薬は戦闘継続と国土防衛の成否を決するもので、高速道が整備されたインターチェンジもあり、中国地方に散在する各駐屯地に迅速に弾薬を運ぶ位置関係上の立地に適している。
- ② 人口減少や産業の衰退で過疎化が進むところに特定防衛施設周辺整備調整交付金などの財政的な寄与がある。
- ③ 自衛隊の存在は地域を活性化させ治安や防災の観点から安心安全が担保される。

▶火薬庫や演習場のリスク隠しと住民分断

昨年 1 月に広島県江田島市で発生して、3 日間燃え続けた山林火災の原因は、海上自衛隊演習場の爆破訓練で 300 度に熱せられた砂の塊が、40 ~ 50 メートル四方に飛び火したことによるものだったとわかっている。

説明会では期待する声がある一方で火薬庫や演習場がどのようなものか具体的でないで判断できない。とにかく住民を二分するようなことはやめて欲しい、とする反対意見があった。2 月 4 日の NHK ニュースウォッチ・ナインで、選挙の争点「防衛力の強化方針」を各党に問うとして、「さつま町」の弾薬庫問題が取り上げられたが、実によく似た構図だ。

▶現時点での具体的な反対行動

遺族会が 3 月議会にむけて陳情を準備しているぐらいで、大きな反対運動が起こるまでには至っていない。

石飛市長は 24 年の戦没者追悼式で「国際情勢が対立を深めつつある時代においては、平和教育が重要となる。平和への願いを言葉にして世界へ発信し続ける」と追悼のことばを述べた。遺族会から誘致の判断を託された石飛市長は前言を翻すことなく言行一致を貫くべきだ。

また、雲南市遺族会の難波幸夫会長は「戦争は遠い過去の歴史的出来事ではなく今も身近にあることを再認識し、世界恒久平和実現に戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐ社会的責任を痛感している。雲南市とともに、核兵器の廃絶、世界平和実現のため、渾身の努力をしていく」と平和への誓いを新たにしている。

今後の取り組み

雲南市は「長崎の鐘」の著者である永井隆博士の生誕の地として、05 年に博士にちなんで、「平和を！」の都市宣言をおこない、「核兵器禁止条約」の交渉参加を求める署名活動にも取り組んでいる。このような平和都市宣言をおこなっている雲南市に戦争のための施設は相応しくない、と広く訴えていくことが肝要だ。

雲南市 3 月議会で火薬庫、訓練場問題が取り上げられて、立民 2 名と共産 1 名の議員が『『平和を!』都市宣言に反するのではないか?』と市長を質した。これに対し市長は煮え切らない一般論に終始したが、市議会で取り上げられたことで、この問題と平和都市宣言の存在を広く市民に知らせた意義は大きいと感じた。今後、本格的な議論になると思うので、議会ウォッチを続けていきたい。

山陰中央新報 2025年(令和7年)12月27日(土曜日)

雲南に火薬庫、訓練場誘致

地元関係者 防衛省計画踏まえ模索

雲南市と島根県奥出雲、飯南町の経済関係者らでつくる雲南地区防衛協力会(高橋自出男会長)のメンバーが、雲南市吉田町内で自衛隊の火薬庫と訓練場の誘致に向けて動いていることが26日、分かった。東アジアの安全保障情勢を踏まえ、防衛省が防衛力強化を目指す中、施設誘致で地域振興を図る目的がある。住民の賛同を前提に、市や市議会に整備に向けて調査を市に働きかけるよう要する可能性を探っている。(佐々木一幸、福岡県広)

地域振興目的、理解促進を図る

防衛省はロシアによるウクライナ侵襲や北朝鮮のミサイル発射を受け、防衛力強化を掲げ、火薬庫を増設する計画を掲げている。2022年度に開始した防衛27年度までに全国で約70棟の増設を計画している。雲南市は、この計画を受けて、27年度までに火薬庫を増設することを希望している。高橋自出男会長は、火薬庫の増設は、地域の活性化や防災の観点から歓迎している。また、防衛省が火薬庫の増設に伴って、道路や福祉施設への補助金を支給するとしていることも、地元関係者に歓迎されている。

高橋会長は、地元関係者らでつくる雲南地区防衛協力会(高橋自出男会長)のメンバーが、雲南市吉田町内で自衛隊の火薬庫と訓練場の誘致に向けて動いていることが26日、分かった。東アジアの安全保障情勢を踏まえ、防衛省が防衛力強化を目指す中、施設誘致で地域振興を図る目的がある。住民の賛同を前提に、市や市議会に整備に向けて調査を市に働きかけるよう要する可能性を探っている。(佐々木一幸、福岡県広)

対し、高橋会長は、地元関係者らでつくる雲南地区防衛協力会(高橋自出男会長)のメンバーが、雲南市吉田町内で自衛隊の火薬庫と訓練場の誘致に向けて動いていることが26日、分かった。東アジアの安全保障情勢を踏まえ、防衛省が防衛力強化を目指す中、施設誘致で地域振興を図る目的がある。住民の賛同を前提に、市や市議会に整備に向けて調査を市に働きかけるよう要する可能性を探っている。(佐々木一幸、福岡県広)



「日本でも『女性の休日』をやろうよ」という呼び掛けが昨年、上野千鶴子さんをはじめフェミニストの方々からありました。ジェンダーギャップ指数が毎年トップでお馴染みのアイスランドで、男女平等が進むきっかけになったと言われている1975年10月24日に行われた「女性が一齐に休む」というストライキには、女性の約9割が参加したそうです。

広島では昨年12月に横川シネマでドキュメンタリー映画「女性の休日」が上映され、私も観てきました。1975年当時のアイスランドの女性たちは、まるで今の私たちみたいでした。進学で差別され、仕事は低賃金、家事・育児・介護は女性がメインなど既視感がある事ばかりです。そんな中「レッドストッキング」の女性たちが、綺麗な白い雌牛を連れて行き、美人コンテストを中止にさせ、ラジオで生理について話すなど様々な行動をおこします。1975年6月に約300人の女性が集まり「女性会議」が開催されました。「ストライキはできない」という意見の女性たちに対し、「ストライキはだめ？じゃあ休日にしよう」と提案があったそうです。妥協した面も見せてくれて安心しました。さらに素敵な点は運営委員会は決まったけれどリーダーは作らなかったことです。

映画を観た女性たちからもっと多くの人に観てもらいたいという声があり、ハチドリ舎さんが中心となって、3月6日(金)午後3時から横川シネマにて「女性の休日」を鑑賞し、その後に映画の感想やジェンダーのモヤモヤについて話す会を開催し、夜は女性たちでパーティーをすることになりました。

私の職場に地元の新聞社さんから「もうすぐ国際女性デーなので、働く女性に関する資料を使いたい」というお問い合わせがありました。私は関われる事に喜びつつ

大石友美 (ジェンダーを考えるひろしま県民有志)

男性上司に「6日から8日の間に1時間でも良いから休もうという呼び掛けがあるんですよ」と軽く説明して電話を繋ぎました。電話を終えた上司に、私が6日の午後、休みをとるのは「女性の休日」に参加するためで、当日のスケジュールを話し、その他にも広島では講演会やフラワーデモなどが開催されることを伝えました。すると上司は「女性たちで男性の悪口言うの？」と冗談っぽく言いました。上司が冗談のつもりなのはわかっていますが、自分が大切に思っているイベントを雑に扱われたと感じ、またその上司は威圧感が無く物腰が柔らかく女性たちからの信頼もあるので余計に悲しくなりました。「別に男性と争いたいわけじゃないんです。辛いことを女性同士で共有して連帯したいだけです。ご家族に女性がいるので知っておいて損はないですよ。」と伝えました。上司は基本的には良い人なので慌てていましたが、その後、上司は新聞社さんに「女性の休日」の関連資料を送り、掲載された際は「お陰様で掲載されました」と私に記事を見せてくれました。

しかし職場では、その上司にしか「女性の休日」について話せませんでした。普段、職場の女性たちと挨拶しかしないのに、急に「休もうよ」と呼び掛けて、もしかしたら嫌な思いをさせるかもしれないと怖くなりました。「子育て・介護をしていない」「持病がない」「有給休暇があるから休んでもお給料は減らない」といった今の自分の持っている特権性ばかりが気になりました。人には色々な事情があるので、大変だった頃の自分と勝手に重ねてしまい、言葉が見つからなかったのです。

当日、映画館は満席になり、追加の椅子が運び込まれました。映画は2回目なのに何度も涙を流しました。上映後、みんなで印象に残ったシーンの感想や、職場ではなかなかできない政治の話を中心までしました。辛いエピソードには一緒に怒って、美味しいものを食べて飲んでゆったりと過ごし、こんなにも素敵な仲間がいるから明日からも頑張れる、と希望に満ち溢れた尊い時間でした。県外から参加された方も何名かいました。たくさん泣いて笑ったので体は疲れているはずなのですが、安心できる空間で過ごしていた為、心地よい疲労感に包まれ、心は最高にデトックスできていました。

月曜日、「机の上は書類が山積みかも」と覚悟して出勤しましたが、大きく予想が外れました。主に20代前半の男性が私の分まで仕事を終わらせてくれていました。もしかしたら来年は休める時間が増やせるかもしれない、と今からも期待しています。

「特別の教科道德」と「教育勅語」

岸直人（教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま）

日本政府が1958年に「特設道德」、2002年に文部省副読本「心のノート」を導入し、2018年から「特別の教科道德」として学校教育を通して国民の道徳的価値の統制を進めてきたと私は考えています。

1 教育勅語から「道德」までの経緯

明治政府は維新後の混乱を治めるために国家神道制度を作って全国隅々まで天皇中心の国造りを進め、国民の精神的統合を図りました。政府への抵抗勢力や、開港を求めて日本に押し寄せる欧米列強に対抗するために強い国と強い国民にする必要にも迫られ、天皇を絶対的権威者（＝神）にするために直接国民への絶対命令として教育勅語を1890年に出しました。

1948年までの58年間、政府は各地の神社を通して国家神道や天皇崇拜の祭祀を日本全国に広め、「教育勅語」は学校教育を経て国民全体に広く共有されていきました。そして「一旦緩急アレバ…皇運ヲ扶翼スヘシ」を信じ込まされた若者たちは朝鮮、中国、アジアで植民地侵略戦争をまさに聖戦と信じて戦いました。

敗戦後GHQは「神道指令」を出し、衆参両議院では教育勅語の失効・排除決議が行われ、国家神道も教育勅語もなくなったと思われました。しかし現実には神社本庁、神道政治連盟、日本会議などの右翼勢力は教育勅語を「道德」の中に姿を変えて生き続けさせようとしてきました。

2 右翼勢力が「道德」を教科にしたかった理由

2000年代以降、右翼勢力は「中国の台頭」「朝鮮の核」「台湾有事の可能性」に対する危機意識を国民に煽り、また「選択的夫婦別姓制度」や「ジェンダー平等」などの推進論議を「家父長制度」を崩壊させるものとして強く警戒してきました。このような国民意識の動きに対して右翼勢力は「国を愛する態度」「公共のために尽くす態度」「国や社会の発展に貢献する態度」といった価値を「特別の教科道德」で教育して「強い国家のための国民の統合」を進めようと考えてきました。

これは、教育勅語の「一旦緩急あれば…」のような露骨な戦争動員思想ではありませんが、「国家のために自己を抑制し、奉仕する国民像」を育てる方向性は共通しています。つまり、右翼勢力は道德で国家の危機に対応できる“統合された国民意識”を育てるために道德を教科にしようとしてきたと私は考えています。

3 「特別の教科道德」と教育勅語との深い関係

文科省は道德を「生徒がよりよく生きるための学習」と説明しますが、内容項目には国家が望ましいとする生

き方の方向づけが強く表れています。教育勅語とよく似ているのは歴史的・制度的に三つの理由があります。

- ① 明治期に修身（道德）は「国家が国民を形成するための規範教育」として位置づけられ、「家庭倫理 → 社会倫理 → 国家倫理 → 天皇への忠誠」という価値体系を示しました。戦後、教育勅語が廃止されても、「内容項目」を「徳目」として「国家が道德の枠組みを定める」という制度構造そのものを文部省は引き継いだのです。
- ② 戦後は「民主主義」「個人の尊重」が中心になりましたが、戦後も国家が「社会の望ましい人間像」を提示し、「国家が望む生き方を示す → 学校がそれを教える」という構造は戦前と連続しています。さらに「特別の教科道德」になって内容項目が明確化され、国家の価値観がより明示的に文章化されたことで、教育勅語とますますよく似てきました。
- ③ 教育勅語は家庭倫理を「忠君愛国」の国家倫理へ接続する構造を持っていました。現行の内容項目にも「家族愛」「責任」「公共の精神」「国家・社会の発展」など、個人の生き方を共同体や国家への貢献と結びつける価値観が含まれています。これは「個人より共同体を優先する倫理観」という点で教育勅語の価値体系と重なります。

2018年の教科化で、道德は「教科書」「検定」「評価」を伴う正式教科になりました。これは国家の道德価値を生徒に強く浸透させる仕組みです。道德が教科になったことでかつての教育勅語のように生徒の生き方に影響を与える構造が強まったといえます。「特別の教科道德」を教育勅語のように、子どもたちを国家主義に育てる教科にしないように私たちは注視していく必要があります。



松井広島市長 職員研修講話 取りやめ!!

松井市長は3月27日の記者会見で、教育勅語への評価は「変わっていない」が、市民団体などが「揚げ足を取り」「政争の具にする」から、2026年度の新規採用職員研修から教育勅語を引用した講話を取りやめると公表しました。「悪いのは市長を批判する市民だ」という説明には驚きました。これまで当会は抗議文、要請文、公開質問状、請願を提出、皆様からは署名、ハガキ、メールを多数送っていただき、市民の粘り強い声が教育勅語を止めたことは大きな成果だと思います。

ゆいぽーとパネル展 日本軍「慰安婦」問題と現代につながる性暴力

大道美代子（日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク）

日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワークは、ゆいぽーと（広島市男女共同参画推進センター）1階ロビーにて、ゆいぽーと協議会加入団体交流会の行事の一つ、パネル展が1月31日から2月21日まで行われ、参加しました。2枚のボードに手作りのパネルで、金学順（キム・ハクスン）さんから始まった各国の日本軍性奴隷制被害者たちの闘いの紹介と、現代の性暴力を取り上げ、性暴力を許さないと声を上げた女性の姿を展示しました。



1991年金学順さんが初めて実名で名乗り出て以降、韓国のみならず、フィリピン、台湾、中国、オランダ、インドネシアなど被害者が次々と証言を開始

し、「慰安婦」問題が日本や世界中で認識されました。1993年の河野談話発表後、1997年中学校歴史教科書全7社で「従軍慰安婦」として記述されましたが、2000年以降減少し、2021年の閣議決定で「従軍慰安婦」は「慰安婦」へ変更または削除され、「強制連行」という表現

も「動員」や「徴用」に変わっています。歴史を歪曲し、反省をうやむやにして、なかった事にしようとした結果、今また、恐れていた戦争への道を突き進むかもしれない現状に怒りや焦りでいたたまれない気持ちになります。

また、このパネル展では、「声を上げること」の大切さを訴えました。同調する空気の中で異議を唱え、尊厳を守るためにそれは違うと最初に声を上げる人がいました。性被害が個人の問題として沈黙、隠ぺいされてきた風潮を打破してきました。それが#MeToo運動として、連帯して社会に変革を求める国際的なムーブメントとなります。パネルで、部活のコーチのグルーミングによる性加害、元大阪検事正が部下の女性検事に行った性加害の問題、学校での性犯罪等展示しました。しかし、被害を公表した人への誹謗中傷や、いまだに残る固定的な性別役割分業意識や、昔ながらの家父長制的な考え方など、課題も多いです。

世界のあちこちで争いがおこり、まだあまり表面に出てこない戦時性暴力の被害も言われています。小さなパネル展ですが、すべての人の小さな願いや行動が、平和で豊かな世界をつくと信じています。



写真提供 室内秀佳さん

写真提供 岡原美知子さん

改憲と戦争への流れを止める！

2.7 布施祐仁講演会開催



2月7日「改憲と戦争への流れを止める！」布施祐仁講演会を呉で開催しました。当初は第28回許すな！憲法改悪全国交流集会として準備を始めましたが急な衆議院解散・総選挙で多くの仲間が大忙しで、やむなく延期。しかしこの講演会は私たちも重要と位置付けていたため、日鉄呉跡地問題を考える会、ピースリンク、第九条の会ヒロシマ、許すな！憲法改悪・市民連絡会の4団体共催で行いました。全国交流集会ではなかったにもかかわらず、東京、神奈川、京都、福岡、大分、山口、岡山、島根等各地から駆けつけてくださいました。日鉄呉跡地問題をはじめ各地の取り組みを共有し、今年も頑張るぞという力にすることができたと思います。参加して下さった皆さん、有難うございました。(藤井)



高田健さん 開会あいさつ
(許すな！憲法改悪・市民連絡会共同代表)
この集会を「改憲・戦争反対、アジアの緊張を高めるな」選挙後の闘いのスタートに！



講演 **布施祐仁さん**
(ジャーナリスト)
司会 **新田秀樹さん**
(ピースリンク 広島・呉・岩国)



是恒真澄さん (日鉄呉跡地問題を考える会)
日鉄呉跡地に無人機などの兵器製造施設、通信施設、岸壁の使用など計画されているが、呉をガザやキーウのようにさせないために皆さんと一緒に抵抗していきたい。

池田年宏さん

大分で数戸ミサイル弾薬庫問題に取り組む中で、大軍拡・戦争を止めるために沖西ネットが大きな力になるとして事務局を担っている。



竹内俊一さん (北九州)
福岡県内の自衛隊・米軍施設、特定利用空港・港湾の問題に取り組み、要請行動・街宣を重ねている

片山純子さん (福岡)
自衛隊へ福岡市が18歳・22歳約3万人の名簿を提出する問題に取り組む



写真提供 宮内秀佳さん



菱山南帆子さん
(許すな！憲法改悪・市民連絡会事務局長)
振り子は今、大きく右に振れているが必ず戻る。市民運動はしっかり政策をもち今日を第1歩にして歩みを進めよう。



田中繁行さん
(島根・雲南の報告は p8 に掲載)

西岡由紀夫さん 閉会あいさつ

布施さんの講演から

溝田一成 (ヒロシマ・環境・エネルギー研究室)

布施さんは、呉の跡地問題から戦争のイメージについて話された。防衛力強化のキーワードは「長射程・新領域・抗堪性」。防衛省は、相手の攻撃に耐え、機能を失わず維持するため、抗堪(こうたん)化が必要になるという。武力攻撃やサイバー攻撃などの脅威下において、自衛隊の施設、機器、システムが破壊・機能停止を免れ、機能を維持・早期回復する能力(抗堪性)を高めることだ。呉基地は防衛複合拠点にするために、司令部を地下に置くことや航空基地の駐機場所の分散を行う。またドローンによる無人化が進められ、ドローン製造工場が進出してくる可能性がある。軍需工場の地下化に国がお金を出していく。その上、原子力潜水艦の保有も考えてるようだ。防衛費がこれからGDP2%、3.5%に拡大していけば20兆円にもなるかもしれないが止めなければならない。

今、日本がすべきことは、

- ①安全保障を法の支配に依拠し、東アジアでは韓国、ASEAN 諸国との連携
- ②対米追従の安保政策を抜本的に見直し、アジア諸国と共存共栄する「覇権なき国際秩序」を目指す
- ③中国との対立、嫌中感情が煽られているが、差別排外主義拡大は戦争への道。克服しなければならない。
- ④社会の分断を加速させ、民主主義と平和を破壊する「スパイ防止法」を止めよう、と結ばれた。

日鉄呉跡地問題に取り組みながら、各地で頑張っている人たちとつながって共にたたかっていきたい。

2.23 熊本・健軍基地を「人間の輪」でぐるり

長射程ミサイル配備反対！



写真提供 山根岩男さん



藤井純子

(ピースリンク広島・呉・岩国
第九条の会ヒロシマ)

2月23日、熊本健軍駐屯地の国産長射程ミサイル配備計画に反対し、「人間の輪」で熊本の陸自健軍駐屯地を囲もうという集会が呼びかけられ参加した。地元の人たちを中心に、全国から30団体・個人が駆けつけ、参加者は約1200人？もっと多かったような気がする。

防衛省は、健軍駐屯地に、反撃能力=敵基地攻撃能力に活用するミサイル「12式地对艦誘導弾能力向上型」を配備する。住宅街で周りに学校もたくさんあるのにミサイルを配備すれば、弾薬庫も必要で、健軍駐屯地内に「覆土式弾薬庫」を2棟新設し、大分の敷戸弾薬庫もそのために増設される。黙っているわけにはいかない。

広島・呉から15人が参加した。12時頃に健軍本町公園に着くと、会場ではすでに手作りの横断幕が広がられている。天皇誕生日のため結集した右翼の20台余りの街宣車が大音量で出迎えてくれたが、知らされていた私たち参加者は完全に無視し手も振らず。

参加者みんなで「憲法前文」を唱和したが、その時の右翼の音量が最大だったのではなかったか。なぜなら、彼らや改憲を急ぐ自民党政府が「第九条」とともに一番聞きたくない文言だったからではないか。

13時、健軍駐屯地に向けてグループごとに出発した。グループの一つに歩くのが少し苦手な人たちのグループが作られその配慮はやさしい。そして「ミサイルはいらない」「戦争する国にするな」とプラカードや横断幕を掲げ、「ぐるり」と繋げることができた。

この行動には地元の人たちの参加も多かったそうだ。右上の黄色の横断幕は、石川幸枝さんグループの福岡の保育園の夫妻が作られたものだが、今回の熊本の実行委員会の会議は、そのグループの保育園で行われたと聞いた。地元の頑張りこそ本当の広がりをつくり、「健軍ぐるり」を成功させたのだと思う。感謝！

『平和の輪』は、わたしたち市民が近隣諸国へ向けて発する「非戦」のメッセージだ。「私たちは二度と加害の歴史を繰り返さない」「誰も殺させない！」「ミサイルはいらない」「戦争準備を止めよう」とアピールし、誓いあった。参加者はその思いを持ち帰り、広島へ、全国へ、多くの市民に伝わっていくことだろう。

5月には、旧軍港4市の一つである舞鶴での集会が予定されている。「大軍拡・戦争準備反対」の行動をひとつずつ積み上げ、全国に広げていきたい。



第九条の会ヒロシマ総会報告



2026年3月22日に広島市市民交流プラザで行った総会で以下の通りご承認いただきました

1) 2025年度主な活動報告

- (1) 33周年記念集会&総会 3月22日原爆資料館会議室1
 - ・講演「核のない未来を！世界核被害者フォーラムに向けて」森瀧春子さん（核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同代表）
 - ・報告「知り、つながり、止める 大軍拡・戦争準備」新田秀樹さん（ピースリンク広島・呉・岩国世話人）
 - ・総会行事
- (2) 8.6新聞意見広告掲載 朝日新聞全国全15段カラー 中国新聞朝刊全エリア全15段モノクロ
- (3) 改憲反対、平和・環境・人権問題に取り組む他団体と連携
 - 5月 ヒロシマ総がかり「憲法集会」に協力・参加
 - ヒロシマ女たちの会「憲法シール投票」
 - 10月 世界核被害者フォーラム 協力・参加
 - 11月 原爆ドームを平和のバナーで囲もう協力・参加
 - 11.3 憲法の集い 協力・参加
 - 12月 日鉄呉跡地防衛拠点反対集会&デモ参加・協力
 - 2月「布施祐仁」講演会 in 呉 4団体共催（許すな！憲法改悪全国交流集会在衆議院選で延期）
- (4) 会報、25年度4回発行 124号～127号
- (5) 世話人会 年間の活動、意見広告紙面づくり・名簿整理・校正作業など15回 ほか会報など発送作業
- (6) 会計報告 会計監査報告

2) 2026年の活動

(1) 方針

- ① 日本国憲法の基本的人権の尊重・主権在民・平和主義の大切さを広く知ってもらうよう活動する。
- ② 平和を願い憲法改悪を阻むために、政治的、思想的立場にこだわらず、大きく連携を広げ、加速する戦争準備を止める。
- ③ あらゆるもののいのち・尊厳を守るために、様々な課題を共有し、幅広く結集する。
- ④ 衆議院の3分の2を改憲派が占めていることを強く意識し、憲法が守られ活かされる政治実現のため市民と労働者、立憲野党の共闘の立て直しに力を尽くす。

(2) 活動計画

- ① 8.6新聞意見広告の掲載により、「戦争する国にさせない！STOP憲法改悪」という意思表示をする。
- ② 大軍拡・憲法改悪を阻むために、全国的、地域的に連携し、行動する。
 広島：「ヒロシマ総がかり行動」など参加・協力する（5.3/11.3憲法集会、3の日行動、シール投票等）
 全国：「許すな！憲法改悪・市民連絡会」との連携「市民意見広告運動5.3意見広告」団体賛同「沖縄・意見広告運動」団体賛同、呼びかけ「赤とんぼの会新聞意見広告」個人賛同「戦争止めよう！沖縄・西日本ネットワーク」
- ③ 人権・平和・環境問題など各課題の共有、参加・協力。
 8・6ヒロシマ平和へのつどい、上関原発止めよう！広島ネットワーク、教科書問題を考える市民ネットワークひろしま、日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク、ピースリンク広島・呉・岩国、広島と沖縄をむすぶドゥシグワー「広島市差別のない人権尊重のまちづくり条例」制定を求めるネットワーク、ほか
- ④ 会報の発行 年4回程度（4月、6月、9月、1月予定）
- ⑤ 世話人会ほか、随時、事務局会や発送作業など。

- (3) 世話人 世話人会の持ち方 原則 月1回（7月3～4回 名簿整理・校正3～4回）

世話人：藤井純子◎（世話人代表） ◎ 事務局 石口俊一、上山耕平（ML管理）、上羽場隆弘（尾三地区）、大道美代子◎（名簿入力）、木原省治、栗原君子、実国義範（広島県北）、島村真知子◎、利元克己、土井桂子◎（校正）、西浦紘子◎（会計）

- ◇ 8・6新聞意見広告制作担当：石岡真由海
- ◇ 印刷・発送など担当：たけだまるみ
- ◇ 会計監査：岸本久美子、節家千津子（新）

第九条の会ヒロシマ 2025年度決算・2026年度予算(案)

2026.03.22 会計担当 西浦紘子

収入の部			
科目	2025年度決算	2026年度予算案	備考
意見広告賛同金	8,799,397	9,600,000	*2026は中国新聞をカラーに
会費	2,236,000	2,286,000	
カンパ	1,736,730	1,850,000	
雑収入	44,692	47,594	総会講演会参加費、会場カンパ
小計	12,816,819	13,783,594	
繰越金	440,563	143,406	
合計	13,257,382	13,927,000	

支出の部			
科目	2025年度決算	2026年度予算案	備考
文書費	606,969	610,000	会報印刷代、封筒作成、チラシ作成、諸印刷代
通信費	1,025,802	1,050,000	会報発送費、切手、はがき
行事費	102,754	100,000	総会、講演会
旅費交通費	60,000	60,000	「許すな！憲法改悪全国集会」参加 東京 3名分
人件費	290,000	290,000	事務局費、会計手当、入力作業
会報・ホームページ作成費	110,000	110,000	会報編集費、校正、発送等諸準備、ホームページ管理費
事務費(消耗品)	7,837	10,000	用紙・インクなどの消耗品
外部会費・カンパ	52,456	52,000	関係団体への会費・賛同金・カンパ
雑費	46,492	45,000	振込通知手数料、交流プラザ年間利用料、会議室利用料
新聞意見広告費	10,811,666	11,600,000	新聞意見広告料+諸経費(紙面制作、呼びかけ人用はがき、チラシ印刷代、ヘルプツァグキ代、紙面コピー印刷代、名簿作成費、送料ほか) *2026は中国新聞をカラーに
予備費	0	0	
支出合計	13,113,976	13,927,000	
次期繰越金	143,406	0	
合計	13,257,382	13,927,000	

2025年度会計につき、3月17日(火)に監査を行った結果、帳簿、通帳類のすべてが適正に処理保管され、正確に記載されていたことを報告します。

会計監査

河野 希美子 岸本 久美子 2026年3月17日

2月の衆院選で大勝した高市政権は、第六次男女共同参画基本計画に、策定会議では出ていなかった「旧氏の単記も可能とする法制化を含めた基盤整備の検討」を盛り込みました。一方、「選択的夫婦別姓」は、法制化を訴える多くの声にもかかわらず、文言すら第五次の基本計画から消されたまま今回も触れられていません。

■ 新たな海外別姓婚に関する申立てについて

海外で別姓婚をした日本人夫妻は、婚姻が有効に成立しているにもかかわらず「夫婦が称する氏」を定めなければ、結婚したことを戸籍で公証することができません。弁護団は海外別姓婚カップルの戸籍公証の申立を行っています。今回新たな申立を行いました。婚姻が公証されていない夫妻のもとに産まれた子ども

は父子関係の公証に裁判所の許可が必要です。弁護団は昨年12月、海外別姓婚夫妻の子どもの父欄記載と子どもの氏の父の氏への変更の許可を求める申立を行いました。

有効に成立しているのに婚姻の公証ができない、その婚姻で産まれた子どもの戸籍の父欄に父が記載されない、父の氏を持つには裁判所の許可を必要とする、これらは、法律の不備により起こっています。現行制度の問題点が理解され、当事者が不利益を被らない制度の構築が求められています。

【第三次別姓訴訟】

- ・東京地裁第8回期日 2026.6.9(火) 11:00
- ・札幌地裁第7回期日 2026.6.17(水) 13:30



写真提供 岡原美知子さん

活動報告 (第九条の会ヒロシマほか 関連団体、実行委員会含む)

- | | | |
|----|-----------|---|
| 1月 | 14日(水) | 第九条の会ヒロシマ会報127号発送 & 世話人会 国際会議場 |
| | 15日(木) | ピースリンク呉駅前街宣 17:45~ & 例会 |
| | 17日(土) | 岩国基地の拡張・強化に反対する広島県住民の会20周年 具志堅隆講演 |
| | 21日(水) | 上関原発を止めよう! 広島ネットワーク 中電前行動 12時~13時 |
| | 23日(金) | 核兵器禁止条約5周年 原爆ドーム 署名・キャンドルアクション |
| | 26日(月) | 日東電工は韓国労働者への人権侵害をやめよ(広島本通り) 15時 |
| | 29日(木) | 広島・パールハーバーの協定撤回を求める署名活動(毎月29日) 元安橋 11時 |
| | 31日(土) | 中国人被爆者の碑を考える会 3周年記念 櫻井秀一講演会 資料館地下会議室 |
| | 31日~2月21日 | パネル展示「日本軍性奴隷制問題と現代の性暴力」(ゆいぽーとロビー) |
| 2月 | 1日(日) | 「ミャンマーを忘れないで」4周年追悼集会&デモ(原爆ドーム前) 15時
共生フォーラムセミナー 高橋創さん(西区地域福祉センター) 14時半 |
| | 4日(水) | 日本軍性奴隷制問題解決のための水曜街頭行動(広島本通り青山前) 12時
九条の会ヒロシマ世話人会 13時半~ 広島国際会議場3F 研修室 |
| | 7(土・日) | 改憲と戦争への流れを止める-布施講演会ビューポートくれ 8日フィールドワーク |
| | 10日(火) | 広島と沖縄をむすぶドゥシグワー例会 18時~ 広島市市民交流プラザ |
| | 11日(水) | 広島市立大芸術学部 卒業作品展示会 参加 10時半
「建国記念の日」を問う広島集会 14時~ 広島カトリック会館 |
| | 18日(木) | 上関原発を止めよう! 広島ネットワーク 中電前行動(中電前) 12時
ピースリンク呉駅前街宣 17:45~ & 例会 |
| | 23日(月・休) | ストップ長射程ミサイル・弾薬庫(健軍駐屯地) 平和の輪 熊本健軍公園 |
| | 24日(火) | ロシアのウクライナ侵略戦争4周年-宗教者・市民追悼の集い 原爆ドーム前 |
| | 28日(土) | 上関ネット緊急 島根・鳥取地震から原発の危険性を考える 弁護士会館
スパイ防止法学習会 額額講演 主催:広島弁護士会 広島弁護士会館 |
| 3月 | 1日(日) | 「ミャンマーを忘れないで」1の碑行動(広島本通り電停前) |
| | 3日(火) | ヒロシマ総がかり「3の日」行動 本通り電停前 17時半~ |
| | 4日(水) | 日本軍性奴隷制問題解決のための水曜街頭行動(広島本通り青山前) |
| | 5日(木) | 第九条の会ヒロシマ世話人会 1 広島国際会議場3F 研修室 |
| | 6日(金) | ~19日「よみがえる声」上映 八丁座 7日(土)上映後トーク |
| | 7日(土) | 九条の会はつかいち憲法学習会「大軍拡が進む中の岩国基地の役割」 |
| | 8日(日) | フラワーデモ in ひろしま 17時半~ 広島本通り電停前 |
| | 11日(水) | 上関原発を止めよう! 広島ネットワーク 中電前行動(中電前)
フクシマを忘れない! さようなら原発広島集会 18時~ 原爆ドーム前&デモ |
| | 17日(火) | 第九条の会ヒロシマ会計監査 10時~ 広島聖文舎 |
| | 20日(金・休) | 広島・パールハーバー協定撤回を求める学習会 高橋真樹さん 資料館地下会議室 |
| | 22日(日) | 第九条の会ヒロシマ総会&記念集会 14時~ 広島国際会議場3F 研修室 |
| | 23日(月) | 日東電工は韓国労働者への人権侵害をやめよ街頭宣伝 広島本通り電停前 |
| 4月 | 1日(水) | 日本軍性奴隷制問題解決のための水曜街頭行動 広島本通り青山前 12時~ |
| | 6日(月) | 第九条の会ヒロシマ会報128号発送 広島国際会議場3F 研修室 13時~ |



写真提供 渡田正弘さん



写真提供 久野成章さん



お知らせ

◆なぜ広島に差別禁止条例が必要なのかー

第10回学習会「日本人ファースト」と差別禁止条例

4月11日(土)14:00～16:30 広島弁護士会館

講演Ⅰ 黄菊枝(ファン・クッチ)さん

講演Ⅱ アウンチーミンさん

資料代:500円(大学生以下、障がい者無料)

録画配信申込 下記アドレスへ4月18日まで

主催「広島市差別のない人権尊重のまちづくり条例」制定を

問合せ:joreiseitei.net@gmail.com 求めるネットワーク

◆「ヒロシマ、ABC兵器をめぐる

ー原爆被害と毒ガス加害ー」ミニシンポジウム

4月12日(日)13時半～16時 原爆資料館地下会議室1

講演:「今なお残る毒ガスの爪痕～禁止条約でも消せぬ戦争責任」

辰巳知二(ジャーナリスト、共同通信元編集委員)

報告:「軍都・軍港と西瀬戸内海の戦争遺跡」

佐田尾信作(ジャーナリスト、中国新聞社客員編集委員)

提案:出原恵三(戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)

主催:戦争遺跡保存全国ネットワーク・広島

参加費:500円 問合せ:090-6432-5054(多賀)

◆「黒川の女たち」上映とトーク

戦時性暴力に向き合う 一声を上げた黒川の女性たちー

4月19日(日)13時～ 広島市民交流プラザ(北棟6F)

参加・資料代:上映1000円/トーク1000円

/セット券1800円/ 学生・障がい者 無料

後日録画配信 詳細は同封のチラシ参照

講師:松原文枝 監督

主催:日本軍「慰安婦」問題解決ひろしまネットワーク

連絡先:TEL:090-3632-1410(土井)



◆「ヘイトにNO! 全国キャンペーン」広島集会

ー誰一人取り残されることのない社会を!ー

4月23日(木)18時～20時 広島弁護士会館2階

講演:外国人労働者からの訴え

講師:鳥井一平さん(移住連代表理事)

主催:平和運動センター、スクラムユニオンひろしま

協力:広島労働弁護士団

連絡先:090-2296-3352(土屋)

◆チェルノブイリ原発事故から40年 中電前行動と申入れ

4月24日(金)12時～13時

主催:上関原発を止めよう!広島ネットワーク

連絡先:090-6835-48391(渡田)

◆4・28「主権回復の日」を問う広島集会

ー辺野古に新基地は作らせない

4月28日(火) ゆいぽーと 4階 研修室1(鷹野橋)

報告者 湯浅一郎さん(辺野古土砂搬出反対全国連顧問)

参加費無料 カンパ歓迎

主催:アイ女性会議 広島支部

協力:広島と沖縄をむすぶドゥシグワー

連絡先:090-3373-5083(新田)



◆平和記念公園とハワイ・パールハーバーとの

姉妹公園協定を考える 第3回パネル展

5月1日(金)～5月7日(木) 旧日本銀行広島支店

2日 広島高校生平和ゼミナール活動報告と展示

4日 講演とシンポ「広島市の平和行政を問う(仮)」

難波健治さん、宮崎園子さん、岸直人さん

5日 藤川晴美さん(朗読の会)「憲法の本」など

6日 瀬戸麻由さん「ピースポートからグローバルヒバクシャへ(仮)」

主催:広島・パールハーバーの協定撤回を求める会

連絡先:辻隆広(080-5622-1256)

◆九条の会・はつかいち <憲法シール投票>

憲法九条を変えて 戦争に参加する?

憲法九条を守って 戦争しない?

5月2日(土)14時～15時 宮島口ロータリー

連絡先:090-3373-5083(新田)

◆第24回共生フォーラムセミナー

「本名」で教壇に立つー公立学校外国籍教員の現状ー

5月17日(日)14時30分 広島市留学生会館2階ホール

講師:洪美律(ホンミユル)さん(公立学校教員)

参加資料代:500円(正会員・学生無料)

主催:NPO法人共生フォーラムひろしま

後援:広島市・広島市教育委員会

連絡先:070-3771-9235 メール kyosei.fh@gmail.com

録画配信:会員向けの無料録画配信を行います。

終了後、1時間程度の茶話会を持つ予定。ぜひご参加ください。

◆教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま

総会・記念講演会

5月30日(土)14時～16時半 広島弁護士会館

資料代:会場参加・オンライン参加・事後録画視聴

共に1000円(学生・障がい者無料)

講師:吉川徹忍さん(浄土真宗本願寺派、元私立小中学校教員)

講演:「国家神道と宗教・教育」教育勅語にかかわって

主催:教科書ネット・ひろしま

連絡先:090-6830-6257(岸)

事務局から

今年こそ! 8.6新聞意見広告26に応援とご支援を!

・今年も8.6新聞意見広告を掲載します。自衛隊は戦争に行くな!
大軍拡・改憲反対! 命・人権を守る政治を求めましょう。

・メッセージ・お名前は皆さんの意思表示! みんなでつくる
意見広告にご協力を。可能であれば呼びかけてください。

・封筒のタックシールに、皆さんの入金状況を記載しています。
2026の賛同金、年会費、カンパなどご確認の上、(時間差もあり
ますが)もし間違いがあれば、遠慮なくご連絡ください。

後記

・今号は会員さん+賛同者にも送らせていただきました。皆さんと一緒に9条を活かしたい。是非ご参加を!

・戦争・改憲反対の声が高まって広島の本通りにも若者が集まり、それぞれのプラカード、コスチュームのアピールに感激です。

・土井監督の最新作「在日ミャンマー人」を観ました。むごい国軍の仕打ちにめげず踏ん張るミャンマーの人々の素晴らしい人間性に感動した。それに引き換え、日本政府・財界の醜さに怒りを覚え、わたしたちに何が出来るか考えようと思います。

・広島も桜が満開です。春ってなんだか元気になるね。